

第31号(2018年夏)

編集・発行 千葉市動物公園ボランティア

千葉市動物公園の

①エサは努力して手に入れる

—チンパンジー—

高い台から周囲を見ている雄のサンタと雌のジージョ。部屋の出入りや食事の時もお互いを確認しながら行動する仲良しです。サンタは人が集まると自分をアピールしたいのか、表情豊かに動き出し、草を投げることもあるのでご注意下さいね。

アフリカの野生のチンパンジーは、イチジク等の果物、葉、昆虫を食べています。当園では展示場のあちこちに小松菜、レタス、人参、サツマイモ等の野菜

を置くと探して食べます。ペレット(固体飼料)を短いホースに入れて渡すと、またもらえると学習して食べ終わるとすぐ返しに来るそうです。

朝は自分たちが寝ていた布団と交換に果物をもらったり、飼育係さんと体をふれ合うかんたんなトレーニングもしています。



②夜のしげみの小さなハンター

—ショウガラゴ—

大きな耳に長いしっぽ。小さな体はまるでリスのようですが、アフリカにすむ原始的なサルの仲間です。別名ブッシュベイビー。夜行性で、暗闇でも見える大きな目を持っていて、耳もよく聞こえます。

おどろくべきは、自分の身長の10倍もの高さを跳ぶジャンプ力。野生では枝から枝へ素早く飛びまわり、好物の昆虫を捕まえます。雑食性なので、当園では果物や煮た根菜をきざんだものやサル用のペレット、ミルワームなどをあげています。

静かな世界で暮らす動物なので、大きな音にびっくりすると隠れてしまうことがあります。そっと観察してみてくださいね。約10頭のショウガラゴが、手を使ってエサを食べる様子や、飛びまわる姿を見ることができますよ。

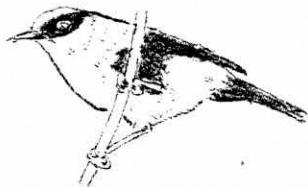


セブンプラス
それぞれの動物がいる場所はウラの地図をごらんください。

③見られたらラッキー！ 幸せの黄色い鳥

—コウライウグイス—

インドネシアからロシアにかけてアジア大陸に広範囲に分布する渡り鳥です。体長は約26cm、黄色い羽とアイマスクのような黒い模様が特徴で、漢詩に登場するウグイスはこの種です。日本では渡りの途中、まれに日本海側に来る程度なので、自然界で目にすることは多くはありません。



日本の動物園等で飼育しているのは、当園のオス1羽だけ。そのため、愛鳥家が一目見ようとはるばる遠くからやってくることもあります。とても警戒心の強い鳥なので、天井付近や木の茂みに隠れていることが多い、見つけるには根気が必要です。すぐに見ることができたあなたは相当な強運の持ち主！ぜひ挑戦してみてください。

④すばやい泳ぎでドジョウをとる

—コツメカワウソ—

コツメカワウソはカワウソの仲間では一番小さい種類で、タイやマレーシア、ベトナム等の東南アジアの川や河口で12頭ほどの群れを作り生活しています。「コツメ」は小さい爪のことで、指より前に爪が出ることはできません。農地開発や森林伐採による生息地の減少や、水質の汚れによるエサの減少、毛皮用の狩猟などにより生息数は減少しています。

色々な鳴き声を持ち、その声やにおいてコミュニケーションを取ります。「ごはんがほしい」という時に、「ニャーニャー」と鳴いていることが多く、エサの時間や夕方部屋に戻る前によく聞くことができます。

水から出た後にかならず木や石に体をすりつけて水分を落とします。体を乾燥させて風邪をひかないように気をつけているんですね。



⑤国旗にも描かれている

—ホオジロカンムリヅル—



草原ゾーンの小高い山の上で、頭に冠羽、頬が白くて優雅に歩いているのがつがいのホオジロカンムリヅル。

生息地はアフリカ中央部から南部。渡りをするツルのように遠くへは行きませんが、雨期に赤道をはさんで渡ることもあります。野生では水辺や草原で魚や昆虫などを食べます。当園では穀類やツルフード(ドッグフードのようなもの)が主食ですが、展示場でもくちばしで土を掘りミミズや昆虫を探します。

オス・メスの体長は同じくらいで見分けはつきません。どういうわけか同じ仕草をするクセがありますのでよく見てね。アフリカのウガンダ共和国の国鳥で、国旗の中央に姿が描かれているのが、この鳥の自慢。

⑥さまざまな色と柄、どれが好き?

— テンジクネズミ —

フワフワ、モコモコで温かく、おんわ。もしくか。南アメリカで食用として家畜化された動物ですが、今はペットとしても世界中で愛されています。上下2本ずつの長い前歯が目立ちますが、奥歯もあり、固い干し草もよく噛んで食べます。ハツカネズミなどの赤ちゃんは最初はハダカでピンク色ですが、テンジクネズミは生まれたときから毛も歯も生え、目もあいていて、すぐにエサを食べられます。だからお母さんのおっぱいは2つしかないけど、1度に2頭~5頭生まれても大丈夫。

子ども動物園で10時半~12時、13時~14時、14時半~15時半にふれあうことができ、14時15分から橋を渡って食事に行くところも見られます(天候等により変更の場合があります)。

★ボランティアが毎月第2、第4日曜にご家族で参加できるクイズ形式の動物ガイド「ZOOボラ・クイズDEガイド」をしています。当日園内放送でお知らせしますので、ふるってご参加ください。

★それぞれの動物が見られる場所は下の地図をご覧ください。

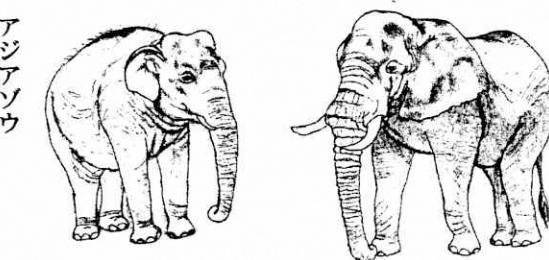
⑦アフリカゾウと見分けられる?

— アジアゾウ —

子どもの日にクイズをしたら、当園の人気者のアイちゃんがアフリカゾウかアジアゾウか知らない人が多かったので、見分けるポイントを紹介しますね。

アフリカゾウの頭はテコボコのない平らな形、背中は肩と腰が高く真ん中がへこんでいます。アジアゾウの頭は正面からみて左右に2つのコブのような盛り上がりがあり、背中は真ん中が盛り上がって樽のたるみのような形です。その他にも、アフリカの砂漠地帯とアジアの森林地帯という環境のちがいは、たとえば気温の高いアフリカでは体温を下げるための耳もアジアゾウより大きくなったり、鼻先の形、ひづめの数、皮膚などにいろいろなちがいを生んでいます。ゾウ舎の屋内にはそんな両者の比較が掲示されています。

さて、それではアイちゃんはどっち?



アフリカゾウ

★「絵本のおはなし会」が毎週土曜 11:30 より動物科学館2階図書室で開かれます。小さいお子さんはぜひどうぞ。

